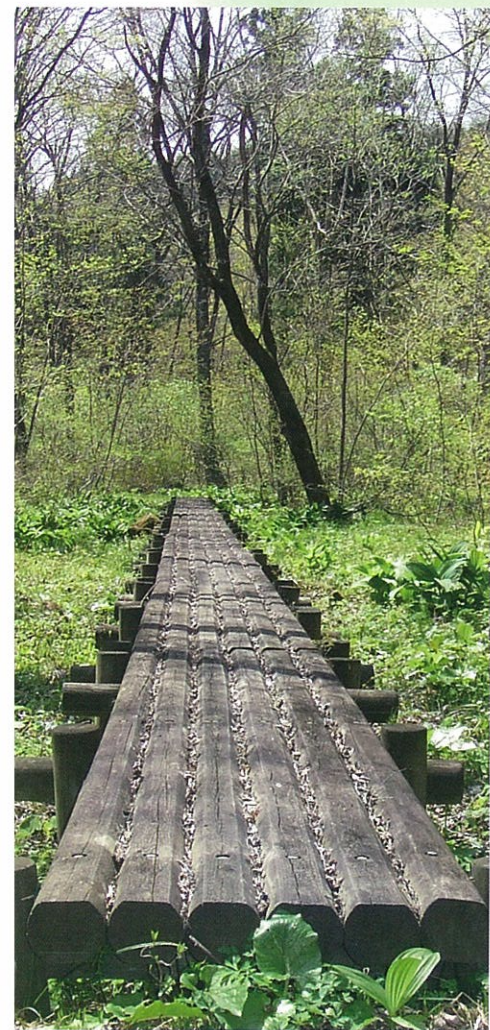




「不伐の森」散策路ガイドマップ

南蔵王色彩の森

「不伐の森」は蔵王の裾野に広がる貴重な動植物の観察とダム周辺の景観が楽しめる市民の保健休養の場として愛されています。蔵王連峰の雄大な風景を望みながら、爽やかな自然空間を楽しんでみませんか。

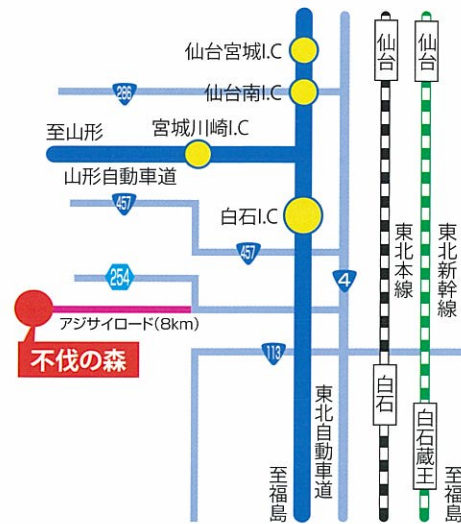


自然と触れる・森林浴を楽しむ・野鳥や草花を観察する



白石市

交通のご案内



ACCESS

白石市内より県道254号線を鎌先温泉方向へ向かいます。温泉街手前を左折し、川原子ダムを目標にアジサイロード(8km)を進みます。川原子ダムに沿って不伐の森が整備されています。

DATA

標高550m前後のなだらかな起伏の火山地形の上に成立するアカマツ人工林及び落葉広葉林の約39haの森です。林内を散策できる歩道(9路線)及び管理車道(舗装)が整備されています。◆駐車場・あずまや・トイレを併設



水芭蕉の森

「水芭蕉の森」は、駐車場から近く気軽に観察できる事から人気があり、見ごろの4月中旬には訪ねる人が絶えません。整備された木道を進むとハンノキの木の間越しに5万株ともいわれるミズバショウの白い大群生が見えてきます。



どうだんの森

水芭蕉の森を越え、整備された遊歩道及び木橋を奥に進むと自然サラサドウダンの群生地があります。花は5月から6月頃に咲き、枝先に垂れ下がる淡紅色の可憐な花が一面に広がり楽しめます。晩秋には赤い実がよく目立つマユミの木も見ることができます。

お問い合わせ 白石市産業部農林課 TEL.0224-22-1253

(白石市農林振興センター内)

<http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/welcome/guide/007.html>



後世に残し伝えたい
豊かな水と森。

そして、そこに生息する命を…。

この「不伐の森」は昭和の初めに造林された官行造林地が、伐採計画されていたものを、白石市が「蔵王の裾野に広がる貴重な資源を守ると同時に、川原子ダム周辺の景観を保ちながら、素晴らしい緑を後世に残す」ということから買い取り「不伐の森」として整備を進めてきました。「不伐の森」は、39haの面積があり、主にアカマツ林ですが、市の木であるブナやコナラ、市の花ヤマブキやヤマツツジ等の植物が数多く植生しています。



川原子ダムサイトから望む不忘山(南蔵王)



四季を彩る大自然の魅力を
気軽に楽しむことができます。



湖面に映る不忘山



川原子ダム周辺の「不伐の森」の森林は、自然とのふれあいの場所として親しんでいただけますよう、散策の休憩地に四阿(あづまや)をはじめ、トイレ、歩道などが整備されています。また、川原子ダムに映る、不忘山や野草などを撮影しながらのトレッキングに訪れるグループも多く見られます。

森林浴は、心が落ち着き、リラックスした気持ちになります。

その効果の源は「フィトンチッド」や「マイナスイオン」などの効果と云われていましたが、科学的な根拠はあまり出ていません。それが最近の研究では、ガン細胞を防ぐNK(ナチュラルキラー)細胞が増えるという結果や、リラックス効果も実験から実証されてきているそうです。

自然とふれあうウォーキングコース 不伐の森」散策路

不忘山



アカマツの丘 高さ14~17m・太さ50cmのアカマツとマンサク、ヤマモミジ、コナラが見られます。



川原子ダム

えびなの森
海老名市と白石市との姉妹都市交流の発展を願い、海老名市民が植樹をした森です。

クヌギの丘
高さ約12mのコナラやアカシデ、ミズナラ、クリ、ヤマツツジなどが見られます。

5月上旬頃、ヤマブキが黄金色に咲き誇ります。10月中旬頃、ブナ、コナラ、ヤマモミジが黄色や赤色に色づきます。
蔵王連邦の雄大な風景を望みながら、さわやかな自然空間を楽しんでみませんか。

地形 丘陵地形となっており、海拔525~565m、高度差は極めて小さく15度前後の緩斜面を形成しています。

矢印方向 上り
矢印方向 下り
A点 から B点 まで 1.1km
管理車道 遊歩道

